

一般質問

11月30日、12月1日、2日の本会議で、22人の議員が市政全般について一般質問を行いました。要旨は次のとおりです。

地域の歴史と文化を守るため文化財等の保護を



令和山桜会
池田 有也 議員

議員 市内の多くの文化財等は地元の人々に守られてきたが、災害リスクの増加等により地元有志だけでは修復等の対応が困難になることが懸念される。神社境内の保険をかけている保存樹木が強風等で倒れ、境内の建物が被害を受けた場合、保険の適用は可能か。

都市整備部調整担当部長 どちらも神社の所有であるため保険の適用にはならない。保存樹木が倒木等で他人の施設等に被害を与えた場合に保険が適用される。

議員 境内の建物が被害を受けた時でも保険の対象であったことが過去にあると聞いている。対象外になった理由について伺う。

都市整備部調整担当部長 保険会社からは、自身の所有する建物も認めるとなる保険料をかなり上げなければいけないため対象外になった理由について伺う。

その他の質問 コロナ禍における三鷹市緊急対応方針の実施状況と今後の対応について

交通渋滞のない住みやすいまちづくりを



令和山桜会
吉沼 徳人 議員

議員 武蔵境通りの野崎交差点から東八道路の野崎八幡前交差点における小金井方面への右折レーンが短い

ため恒常的に渋滞が発生し山中通りまで影響が及ぶことがある。右折レーンの延長について所見を伺う。

都市再生部長 右折レーンの延長は渋滞の解消等に有効と考えるが、その効果や影響等の検証が必要だ。検証は道路管理者である都と交通管理者である警察署が主体で行うものだが、情報提供や横の連携を図りながら交通対策に取り組む。

議員 野崎八幡前交差点から野崎交差点に向かって約75メートルの中央分離帯がある。当該分離帯を右折レーンにすれば現在の約3倍の長さになる。所見を伺う。

まちづくり総合調整担当部長 武蔵境通りの交通状況を踏まえながら、適切な交通安全対策を行うよう、都へ伝えていく。

コロナ禍における市・学校行事に万全を期せ



令和山桜会
土屋けんいち 議員

議員 新型コロナウイルス感染拡大防止策として、本市のイベントについて早々に年内自粛を判断し、延期または中止とした。このことについて所見を伺う。

市長 感染拡大を未然に防ぐことができたことから適切な判断だったと考える。

議員 本市のまち・ひと・しごと再生と活性化の契機になるよう、感染症への緊張感を持ちつつイベント等は原則開催に努めていくべきだ。令和3年1月から3月までの市のイベントの開催に係る考え方を伺う。

市長 まちの元気を取り戻

議員 野崎交差点に設置されている信号機には右折信号がなく1回の青信号で、2、3台の車しか右折できない。右折信号が必要と考える。所見を伺う。

都市再生部長 当該箇所への右折信号の設置については現地の状況を踏まえ、交通管理者において判断されるものと認識するが、現状について改めて交通管理者に伝えていきたい。

議員 野崎交差点の信号機に右折信号を設置すれば、当該箇所を右折することに

よりその先の渋滞が解消すると考える。所見を伺う。

都市整備部長 交通実態の確認と、どのような対策が取れるのかを確認し、都に申し入れていきたい。

その他の質問 三鷹駅南口の案内表示について

議員 新型コロナウイルスにより小・中学校は長期臨時休校となり、学校再開後も学校行事等に大きな影響を与えた。3学期の学校行事の開催について伺う。

教育部長 中学校の修学旅行を2月下旬から3月に行

けて実施する予定だ。学校行事は、児童・生徒にとつて貴重な学びの機会であるため、感染症対策を徹底しながらできる限り実施をしていきたい。

議員 各学校で年間行事案を検討する時期になる。来

市のブランディングを進め選ばれた自治体に



令和山桜会
渥美 典尚 議員

議員 本市へ転入する人が増やし、住み続けたいまちにするべく戦略的なPRが必要だ。「住みたい街ランキング」等への所見を伺う。

市長 一喜一憂する必要はないと考えている。目指すべきまちが何かを追求し、その領域でベストワンを目指すよう努力したい。

議員 本市がドラマや映画の舞台になることで、まちを元気にする三鷹フィルムコミッションの取り組みの今後の展開等を伺う。

生活環境部調整担当部長 市の魅力が伝わる作品を増やすとともに市民が参加できるイベントの開催支援を行うなど、映像文化の活用による観光振興を進める。

議員 三鷹の森ジブリ美術館は本市のシンボルである。当美術館のこれまでの本市への貢献度を伺う。



令和山桜会
伊東 光則 議員

議員 将来の三鷹にとつて、理想となる年齢層別人

年度の学校行事等の開催に係る考え方を伺う。

教育部長 感染症対策をしっかりと行いながら、感染状況を注視しつつ判断していくが、現時点では今後の学校行事等を一律に中止することは考えていない。

議員 市の魅力を発信していくにはブランディングの観点が重要だ。イメージを確立させるタグラインやキヤッチコピー、いかに素晴らしいエリアであるかをイメージさせるストーリーが必要だ。所見を伺う。

企画部長 自治体間競争が激しくなる中で、シティープロモーションにおいて、それらの重要性が非常に増していること認識している。

議員 タグライン等を作り作り上げ、市のホームページや広報に掲載することについて所見を伺う。

企画部長 まずはイメージ等の把握が必要だ。成果物ができた際は多様な広報媒体を活用して市内外への情報拡散などを考えている。

議員 持続可能で質の高い行政サービスを提供していくため、世代を問わず担税力のある市民が居住し活力あるまちづくりを進めることが必要と考える。

議員 少子化時代の学校においては、公立・私立間での競争や他自治体との競争に勝ち抜くため、更に魅力ある教育が求められると考える。教育長の所見を伺う。

教育長 少子化ということの利点を生かし、一人一人に積極的に対応を図り、三鷹の学校で学んでよかったと思える教育を推進する。

議員 公園・緑地における市民の要望や課題は、各所ごとに異なる。利用状況を

確認し、市民に更に親しまれるよう適切な管理・整備を行う必要がある。将来の公園・緑地の在り方について所見を伺う。

都市整備部調整担当部長 多様化する市民のニーズを的確に捉えつつ各公園の特性を踏まえ、市民に親しま

れ誰もが安全で安心できる魅力ある公園・緑地づくりを目指していく。

議員 市内のバス通りなど車道の両端に整備されている歩道では、電柱が歩行者の障害になる。車の運転手などからは電柱の陰に歩行者がいても見えない。無電柱化が安全安心のため有効であり、市内の無電柱化に取り組みべきと考える。所見を伺う。

都市整備部調整担当部長 技術的な課題はあるが、道路の拡幅事業や新設する都市計画道路事業に合わせ、都とも連携して積極的に取り組んでいく。

議員 手話言語の理解と広がり地域で支え合い、手話言語を使い聴覚障がい者が安心して暮らせるよう、手話言語条例を制定する自治体が増えている。条例制定について所見を伺う。

市長 制定についての検討等は行っていない。今後、調査を進めていきたい。

議員 情報環境の進展に合わせて視覚障がい者の社会参加の可能性は拡大して

り、しっかり支援する必要がある。本市及び外郭団体等のホームページにおける読み上げソフトの対応について伺う。

健康福祉部調整担当部長 原則、文字情報を読み取れるものを載せている。古いページなどに一部残る未対応のものも順次対応していく。外郭団体についても適切な対応に努めたい。

議員 紙発行のチラシにお



無電柱化された三鷹駅前通り

障がい者に十分配慮し寄り添う取り組みを



令和山桜会
後藤 貴光 議員

議員 手話言語の理解と広がり地域で支え合い、手話言語を使い聴覚障がい者が安心して暮らせるよう、手話言語条例を制定する自治体が増えている。条例制定について所見を伺う。

市長 制定についての検討等は行っていない。今後、調査を進めていきたい。

議員 情報環境の進展に合わせて視覚障がい者の社会参加の可能性は拡大して

り、しっかり支援する必要がある。本市及び外郭団体等のホームページにおける読み上げソフトの対応について伺う。

健康福祉部調整担当部長